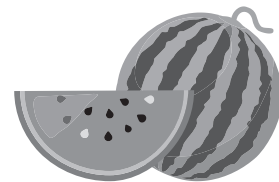


# スコア映画サロンのお知らせ vol.288



◆日時：2024年8月25日(日) 14:00~18:00

◆会場：名古屋国鉄会館  
 (わからない方は10分前にスコアレに集合またはお問い合わせください)  
 ※映画サロンは禁酒禁煙です。

◆参加費：1000円(初参加の方は無料です)

## 課題映画

▷ **ぼくの家族と祖国の戦争**  
 (8/16より伏見ミリオン座にて公開)

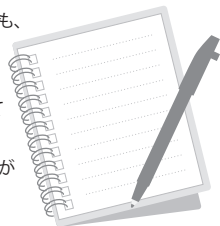
▷ **ブルーピリオド**  
 (8/9よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

## サロンメモ

監督のネームバリューに引っ張られ過ぎた。真作でハイクオリティな橋口亮輔監督だったが「お母さんが一緒」の評価はもうひとつだった。上の二人がとにかくうるさい、演劇を映画にすると無理がある、あの流れで最後を丸く収めるのはどうなのか、決定的な一言の後あんなに簡単に修復するとは思えない等々、身の丈にあった物語だけに意見や感想も具体的に興味深く面白い。私はといえば、21世紀の日本映画ベストテンを選ぶとするなら「ぐるりのこと。」と「恋人たち」はどちらも入れる。「ハッシュ！」だって入れたいくらい。それくらい好きな監督だけに軽めの喜劇はちょっと残念だった。でも監督のネームバリューに引っ張られるのは今後も続く。実績は課題映画選択の重要な決め手となるから。

監督の名前で選んで失敗したのは「フェラーリ」だ。課題映画にこれといったものがなく、消去法で浮かんで来たのがそこそこの実績があるマイケル・マンだった。ただこの監督は男の物語にしか興味がなだとか、レースシーンに代表されるように音や映像へのこだわりが強いとか、あまりサロン向けの監督ではなかったと自責。サロンの場でも、レースシーンは迫力があつたがドラマ部分の評価はかなり低く、さもありませんといった感じ。フェラーリにも車にもレースにも全く興味のない私には、レースシーンはただ邪魔で、ドラマ部分が全てなのにそこは薄べつらで、まあ何ともならない退屈な映画でした。

例年8月の課題映画選びは難航するが、今年は特に。苦勞しながらみんなで決めた2本。さあ吉と出るか。(小西)



初めて参加される方は参加費無料！10分前にシネマスコアレまでお越しください。

7/28(日)	お母さんが一緒	フェラーリ	ホールドオーバーズ 置いてけぼりの ホリディ	ディアファミリー	密輸 1970	朽ちないサクラ	蛇の道	東京カウボーイ
サロン参加者								
近藤 生久子	3	3						
斎藤 文彦	5	3		5				
平林 正明	3	4						
横井 清	2	4	5	4	5	4	3	2
榊原 隆裕	4	4		5	5			
山本 正明	3	4		4	4	5	2	4
加藤 賢二	3	3						
岡村 昌俊	3	3			4			4
三田 正継	4	3	5	4	4		3	3
田中 健一	3	3						
高橋 広河	4	4				4	3	
白石 麻由子	3	4	5					4
井上 章		4	5	4	4	4	3	
小西 孝直 (スコアレサロン代表)	4	2	3			3	3	3
坪井 篤史 (スコアレ支配人)		4	4		5		4	
木全 純治 (スコアレ代表)	3			5			4	